



# 「視点を変える所から始めよう！」

～新しいぶどう酒は新しい皮袋に～

本日は昨日のコンサートに続き、ベアンテ&ルリ子・ポーマン先生ご夫妻をお迎えでき、今回は初めて教会の日曜礼拝でのご奉仕をしていただけることを心より感謝致します。

私たちの人生には様々な問題や戦いを経験することがあります。そんな人生の戦いごどのように立ち向かっていけばよいのか？私たちは悩みます。

クリスチャンもクリスチャンでない人も同様にその人生の悩みはあります。“じゃあ、クリスチャンになったって何もいいことなんかじゃないじゃん？”とってしまいます。

しかし、クリスチャンは悩んでも、悩みつぱなしではないところが大きな違いであると思います。約二千年前に生きたイエスという人物を本気で自分の人生の救い主であるということを感じることで、すべての解決に至るようになります。それが信じられるということ自体が奇跡であると思いますが、本当にただ信じるだけで、人生の問題が解決されるのです。

ポーマン先生ご夫妻にお会いすると、“先生方はとてつもなく自由だなあ。しかし、そこに大いなる力を感じるなあ”と思わされます。先生方は、宣教師であり、音楽家であり、山岳写真家であり、スーパー主婦であり、神学博士でもあります。お立場は沢山お持ちですが、そのお心は本当に自由で、ただただ神様を愛し、福音を語り、私たちと共に歩んでくださる先生です。先生方はよく「新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである」という聖書のことばをお語りになります。私自身、いつの間にか古い皮袋に満足して、古いやり方に満足してしまって、神様の働きの豊かさ、自由に気づかないでいることが多くあります。イエス様もガチガチ頭のユダヤ人たちに「そうじゃないよ、父である神様のお働きはもっとも自由だよ。あなたの頭の中で勝手に決めてはいけないよ」とおっしゃって、「幼な子のような心が必要なんだよ。そのような心で神様を受け入れる者になりなさい」とおっしゃいました。神様の働きを見ることができないのは、神様のせいではなくて、私たちの考え方のせいなのかなあと思うことがあります。もっとも柔軟な心で、神様の素晴らしさを感じていきたいと思えます。

今までもご一緒して下さった主なる神様は、これからも私たち一人一人と共に歩んでくださいます。しかし、時々自分で勝手に何もかも決めてしまってから、神様に「よろしく願います」と頼んでしまっているようなところがある私たち。しかし、神様はそんな私たちの天のお父様であり、私たちが天国人としてこの地上でも成長し、その天国の恵みをもっと豊かに体験して欲しいと願っています。私たちの視点を変えるところから始めたいと思えます。